

八清親和会 自治会役員の一とり言

平成30年3月26日 No8

八清親和会 副会長 吉田祐治

3月23日(金)の、昭島市立玉川小学校の第107回卒業式に、昭島市自治会連合会第3ブロック並びに、八清親和会を代表して出席してきました。62名の生徒が卒業していきました。

玉川小学校は、昭島市の中でも創立100年を超える。歴史ある小学校です。八清地域は、私が小学校に入学した当時は、玉川小学校が通学区域でしたが、その後、玉川小学校の分校であった東小学校が独立し、八清地域の2/3が東小学校への通学変更になったため、卒業は東小学校でした。

現在、自治連の第3ブロック地域で玉川小学校にお世話になっている子供たちは、八清親和会の1/3地区と、築地地区自治会、サーパス中神自治会地区です。

また、第3ブロック運動会では、隔年ごとに玉川小学校にお世話になっており、自治連とも密接に関わっています。

地域活動に於いても、「青少年とともにあゆむ玉川小地区委員会」や「2つの子供会」とも密接に関わっていますため、卒業式は、学校関係者、自治会や、地域の活動に関わってくださった子供達、父兄への、感謝の気持ちで出席させていただきました。

八清地域は、玉川小学校区域と東小学校区域の2つの通学区域があり、玉川小学校は卒業式、東小学校は入学式と分けて出席しています。

そして、このような地道な活動が第3ブロックあるいは、八清親和会の行事や活動に、子供達や父兄の参加増加につながり、八清親和会活動の若い世代の増加へとつながってきています。

例えば、玉川小学校の地区委員会の自治会委員や、玉川小学校区域の活動に関連している自治会は11あります。これらの自治会長に卒業式、入学式の来賓案内が行っていますが、今回も来賓の「自治会役員」の出席は、八清親和会代表兼第3ブロック長の僅か1名でした。

また、地区委員会等の集まりでも、自治会委員の出席は、毎回、八清親和会を含め2、3の自治会しか出席していません。地域の自治会として、これで良いのだろうか？

今、多くの自治会で、行事、活動の若い世代のお手伝いや参加者が少ない。また、子供の参加が少ないと言う問題点の話を聞きますが、自治会の若い世代は、幼児・小学校・中学生の子供がいる若いご夫婦の世帯会員です。ではなぜ、この若い世代会員に着目して、学校行事に出席しないのか疑問に思っています。

若い世代の自治会行事・活動への参加増加は、八清親和会の取り組み経験からも、まず、自治会として小学校や中学校の、学校行事などへの出席、参加等の地道な行動の積み重ねによるものです。

言葉だけではなく行動が必要です。役員や、父兄は良く見えています。役員や父兄と自治会行事や、活動での立ち話、懇談の席上で、学校行事に来てくれていましたね、いつも委員会に出てくれますね、とお礼や会話に出てきます。

そして、役員や子供たちの父兄は、自治会役員も子供たちの活動と一緒にあって応援・支援してくれている姿を見て、自治会の行事・活動にも協力し、参加してくれるのです。

八清親和会も数年前までは、これら学校の行事・活動に出席していませんでした。しかし、学校行事や委員会に地域として出席するようになってからは、学校関係者、父兄役員、子供会役員・子供たちの父兄との距離が狭まり、自治会行事や活動に多くの若いご夫婦・子供たちの参加が増え、そして、お手伝いや、行事・活動にも、若い世代の人たちが戻ってきました。

出発点は、卒業式、入学式に自治会も積極的に出席すべきです。また、父兄の活動の委員会などにも、自治会として名前だけを連ねるのではなく、きちんと出席すべきです。

この信頼関係が自治会活動への若い世代の参加につながるのです。

以上、玉川小学校卒業式に出席し感じた、ある役員の一とり言です。

以上